

エコアクション21 環境経営レポート



2024・令和6年度
(対象期間:令和6年4月～令和7年3月)



ISO9001認証取得

発行日 令和7年 5月13日

吉岡工業 株式会社



YOSHIOKA KOGYO CO.,LTD.

〒819-0032 福岡市西区戸切三丁目1番7号
TEL(092)811-2220 FAX(092)811-1949

目 次

番号	項 目	ページ
1.	組織の概要	1/21
2.	環境経営組織図及び役割・責任・権限表	2/21
3.	環境経営方針	3/21
4.	環境経営活動計画	4/21
5.	環境経営目標及びその実績	6/21
6.	環境経営活動計画の取組結果とその評価・ 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	8/21
7.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	20/21
8.	代表者による全体評価と見直し・指示	21/21
9.	これまでの環境経営活動の紹介	21/21

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

吉岡工業 株式会社
代表取締役社長 吉岡 宏史

(2) 所在地

〒819-0032
本社 福岡県福岡市西区戸切3丁目1番7号
TEL(092)811-2220 FAX(092)811-1949
資材センター 福岡県福岡市西区戸切1丁目1番30号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 永野 秀己 携帯:080-1718-0531
Eメールアドレス yoshioka.kk-nagano@buz.bbiq.jp

(4) 事業内容(特定建設業及び産業廃棄物収集運搬業)

・ 特定建設業

許可番号	福岡県知事 許可 (特一2) 第38651号
許可の有効期間	令和2年6月19日から令和7年6月18日まで
特定建設業	土木工事業 とび・土工工事業 舗装工事業 しゅんせつ工事業 水道施設工事業

・ 産業廃棄物収集運搬業

許可区域	福岡県
許可番号	04000009014
許可の有効期間	令和5年8月19日から令和10年8月18日まで
事業の範囲	積替え保管なし
産業廃棄物の種類	がれき類
許可車両 (合計 6台)	10tダンプカー 1台・4tダンプカー 2台・3tダンプカー 2台 ・2tダンプカー 1台

受託した産業廃棄物量

収集運搬量	131.0t
-------	--------

(5) 事業の規模

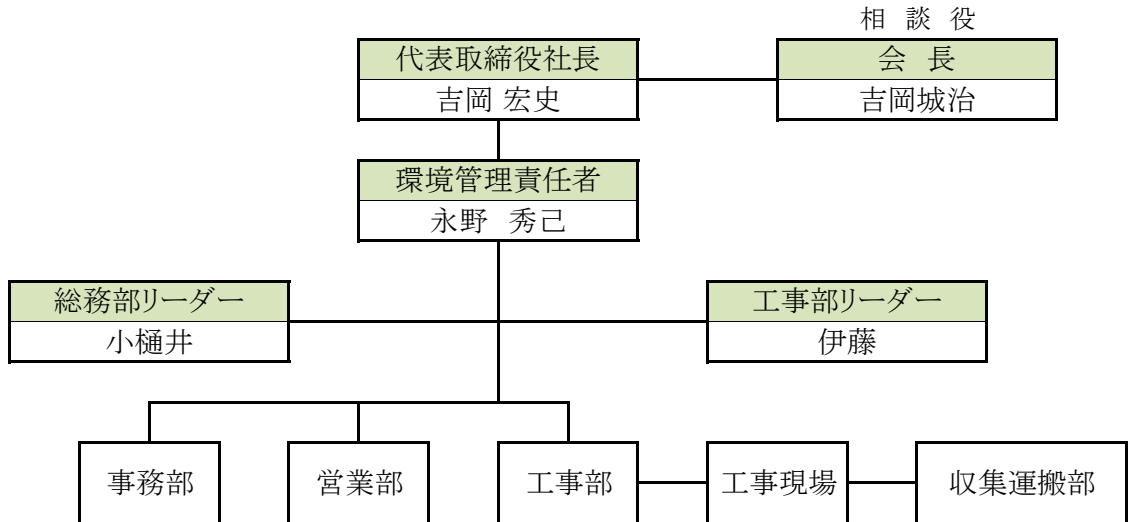
創立 1979年(昭和54年)1月10日
資本金 3千万円
売上げ高 令和6年度 3億1千8百万円
従業員数 9名
床面積 本 社 113.4㎡
資材センター 1250.0㎡

(6) 事業年度 4月1日～翌年3月31日

2. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表

本社、現場、資材センター、車両、重機の全組織・全活動・全従業員を対象

組織図



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に優しい経営をするための、統括責任。 ・課題とチャンスを整理し、明確にする。 ・環境経営システムを行う為の、資源の提供を行う。 ・環境経営に必要な教育、訓練など、全従業員を対象に行う。 ・環境管理責任者を任命する。 ・環境方針の策定、見直しを全従業員に周知する。 ・環境目標、活動計画書、環境レポート、環境関連法規等の確認。 ・全体の評価と見直しを実施する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・自社環境関係文書の作成。 ・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境活動レポートの作成及び公開を行う。
部門リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐を行う。 ・環境経営システムの実施を行う。 ・環境方針の理解と周知。 ・特定された項目の手順書作成とその運用。 ・事故、緊急事態発生時の対応のための手順書作成。 ・環境経営に関する、問題点の発見、是正、予防処置、報告を行う。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。家庭でも実施する。 ・ルールを守り、積極的に環境活動に参加する。

環境経営方針

吉岡工業㈱は、建設業において社会資本充実の下支えとして企業活動を行ってきました。最近、地域環境の保全が企業として配慮しなければならないことと認識されています。そのため当社は、「地球環境の保全」を企業活動の重要課題と認識し、「環境負荷の低減」に努めます。さらに、「水」「空」「大地」を身体の一部と感じる社員の集まりとします。

1. 次の事項を重点的なテーマとし、継続的な改善として取り組みます。

- (1) 電力、燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減をします。
- (2) 廃棄物の減量化、再使用、再生品利用及び省資源の推進をします。
- (3) 現場及びオフィス業務における環境負荷の低減をします。
- (4) グリーン購入の推進をします。
- (5) 水資源の節約をします。
- (6) 環境に優しい工法の提案や、創意工夫を実践します。
- (7) 化学物質の保管量の管理を行います。
- (8) 当社の内部外部の課題を明確にし実践します。

2. 関係する環境関連法規等を遵守します。

3. 環境改善活動を、会社、家族、地域社会へと連携して広げる。

制定日：2011年・平成23年04月25日

改訂日：2018年・平成30年05月10日

吉岡工業 株式会社

代表取締役 吉岡 宏史

4.環境経営活動計画(2024・令和6年度)

◎本社・作業所(現場含む)総合記載にて活動計画設定しています。

◎基準値(2023・令和5年度実績値)

1、二酸化炭素排出量の1%削減。(排出量・使用量年間削減率(電力0.5% 他1.0%))

取組項目	本社 実施責任者	作業所 実施責任者	活動計画	スケジュール											
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 電力使用量の 0.5%削減	山本	永野	① 室内空調設備 夏期:28℃設定 冬期:21℃設定				○	○	○		○	○	○	○	○
			② 不要電力の消費抑制(昼休み、廊下・トイレ・不在箇所等)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			③ ノー残業デーの実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 燃料消費の 1%削減	小樋井	伊藤	① エコ運転の推進(急発進、急加速、急ブレーキの削減)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			② 駐車時のアイドリングストップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			③ 定期的な車両整備の実施(タイヤ空気圧の適正化)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			④ 過積載防止に努める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			⑤ カーエアコンの適正使用(クールビズ・ウォームビズの推進)				○	○	○		○	○	○	○	○

2、廃棄物の発生の抑制、リサイクル活動の推進

取組項目	本社 実施責任者	作業所 実施責任者	活動計画	スケジュール											
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 一般廃棄物の 1%削減 ・産業廃棄物 排出量の把握 ・再資源化率 100% ・受託した産業 廃棄物量の把握	山本	各作業 責任者	① 事務所ゴミ分別を徹底し、リサイクルに努める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			② ペーパーレスの推進(メールの活用、データの電子化)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			③ 使用済紙の再利用(コピー裏紙、封筒・ファイルの再利用)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			④ 産業廃棄物の分別(金属くず、廃プラ、その他不燃ごみに分別)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			⑤ 端切材料の有効活用(端切材保管場所の設置)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			⑥ 産業廃棄物の運搬車両に運搬業の表示、書面の備付けを行う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			⑦ 産業廃棄物中間処理業者への適正処理を行う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

3、再生資材の優先利用

取組項目	本社 実施責任者	作業所 実施責任者	活動計画	スケジュール											
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 現場建設資材の 再生材料購入	永野	各作業 責任者	① 各作業所で使用する基礎材、埋戻し材、舗装材等再生材を使用する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

4、節水活動

取組項目	本 社 実施責任者	作 業 所 実施責任者	活 動 計 画	スケジュール											
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 水使用量の1%削減	小樋井	各作業責任者	① 節水運動の推進(ポスターの提示)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			② 水道利用時の蛇口の調整をする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

5、化学物質保管量の把握

取組項目	本 社 実施責任者	作 業 所 実施責任者	活 動 計 画	スケジュール											
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 接着剤、滑材の購入量の把握	永野	各作業責任者	① SDSを取寄せ、取扱い・保管等の注意事項を厳守する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			② 接着剤を使用しない工法を提案する等、創意工夫する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

6、グリーン購入

取組項目	本 社 実施責任者	作 業 所 実施責任者	活 動 計 画	スケジュール											
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 グリーン購入	山本	各作業責任者	① 事務用品グリーン購入のデータ収集	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			② 事務用品グリーン購入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			③ LED電球の購入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			④ 各現場でのグリーン購入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

7、地域貢献活動

取組項目	本 社 実施責任者	作 業 所 実施責任者	活 動 計 画	スケジュール											
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 地域貢献活動	伊藤	各作業責任者	① 地域貢献活動の参加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			② 地域清掃活動の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

8、環境配慮工法の推進

取組項目	本 社 実施責任者	作 業 所 実施責任者	活 動 計 画	スケジュール											
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 環境配慮工法の提案	永野	各作業責任者	① 創意工夫による、技術提案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			② 社会性、高度技術による提案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

9、騒音・振動のクレーム0件

取組項目	本 社 実施責任者	作 業 所 実施責任者	活 動 計 画	スケジュール											
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 騒音・振動クレーム0件	永野	各作業責任者	① 騒音・振動が出ない施工方法の工夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			② 地域住民とのコミュニケーションを図る	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

5.環境経営目標及びその実績(2024・令和6年度)

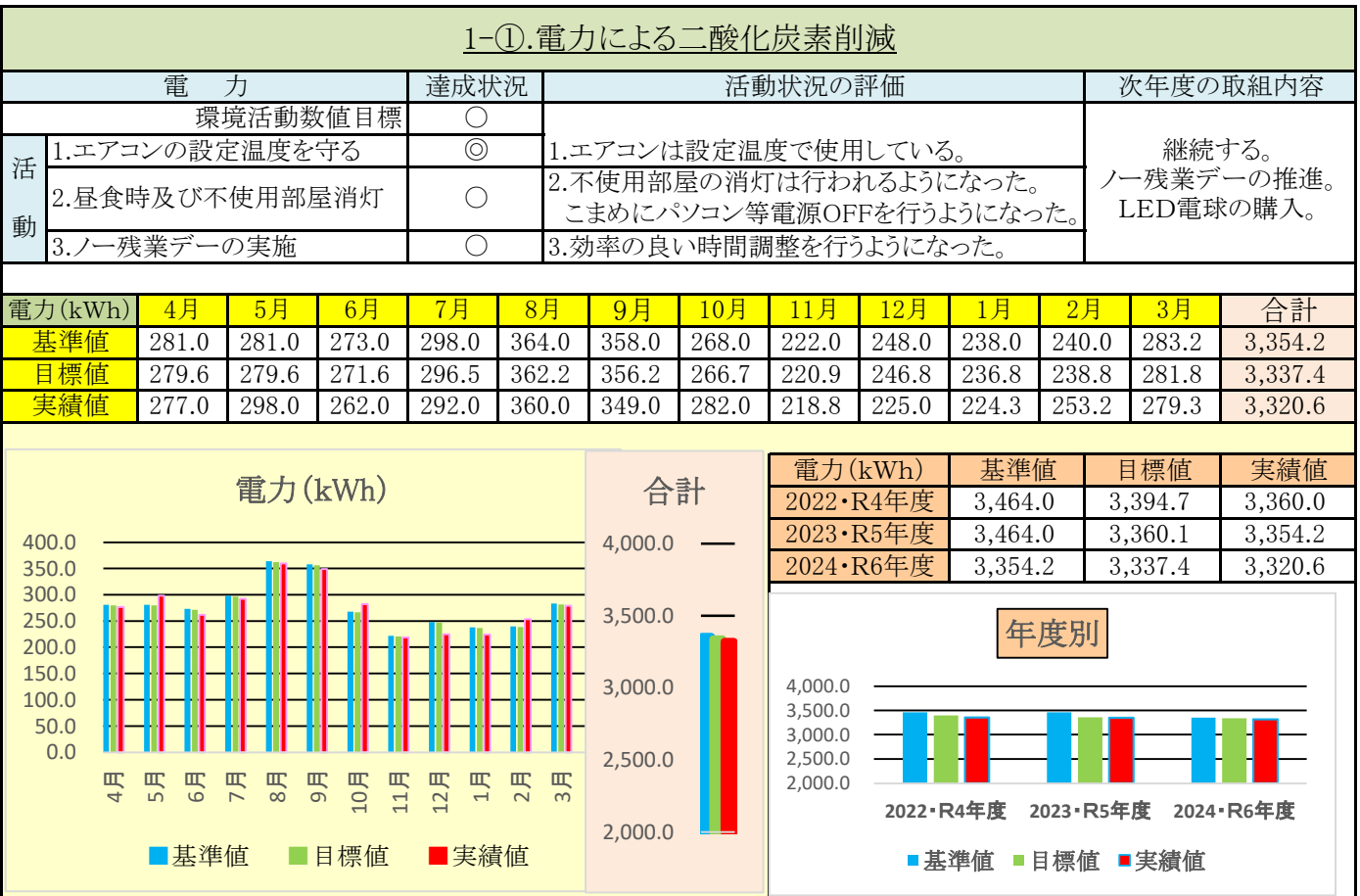
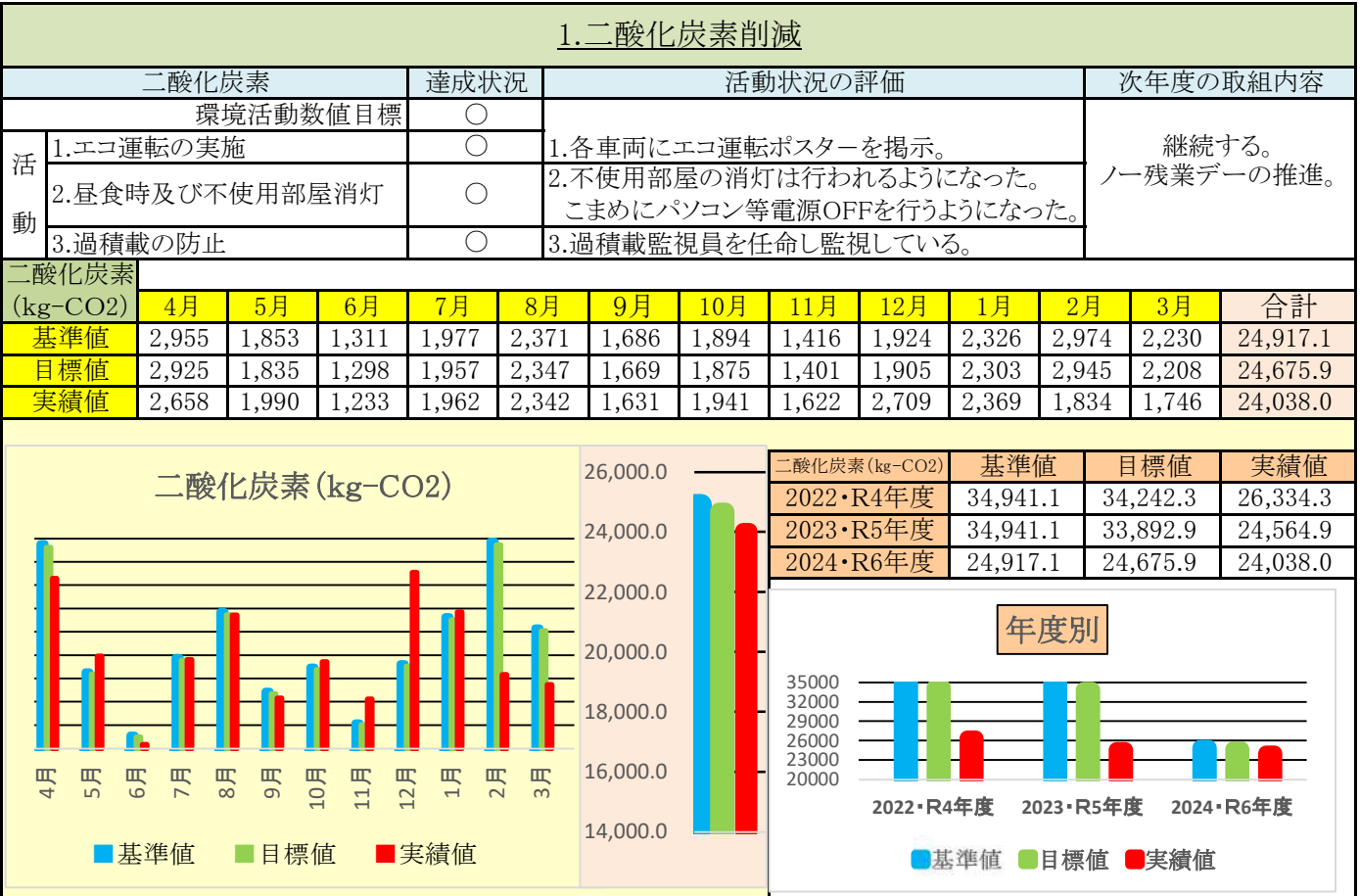
環境目標	サイト区分	単位	基準値 (令和5年度 実績値)	削減率	目標値	実績値	評価	目標値	目標値	目標値	目標値	
			R5年4月～ R6年3月		%	令和6年度 R6年4月～ R7年3月	令和6年度 R6年4月～R7年3月		令和7年度 R7年4月～ R8年3月	令和8年度 R8年4月～ R9年3月	令和9年度 R9年4月～ R10年3月	令和10年度 R10年4月～ R11年3月
1.二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO2	24,917.1	1.0	24,667.9	24,038.0	○	24,418.8	24,169.6	23,920.4	23,671.2	
①電力使用量の削減	事務所	kWh	2,991.2	0.5	2,976.2	3,320.6	○	2,961.3	2,946.3	2,931.4	2,916.4	
	現場	kWh	363.0		361.2	0.0	○	359.4	357.6	355.7	353.9	
	合計		3,354.2		—	3,337.4	3,320.6	○	3,320.7	3,303.9	3,287.1	3,270.3
②ガソリン使用量の削減	事務所	L	2,709.9	1.0	2,682.8	2,718.2	○	2,655.7	2,628.6	2,601.5	2,574.4	
	現場	L	140.0		138.6	100.0	○	137.2	135.8	134.4	133.0	
	合計		2,849.9		—	2,821.4	2,818.2	○	2,792.9	2,764.4	2,735.9	2,707.4
③軽油使用量の削減	事務所	L	0.0	1.0	0.0	0.0	○	0.0	0.0	0.0	0.0	
	現場	L	5,559.1		5,503.5	5,265.6	○	5,447.9	5,392.3	5,336.7	5,281.1	
	合計		5,559.1		—	5,503.5	5,265.6	○	5,447.9	5,392.3	5,336.7	5,281.1
④灯油使用量の削減	事務所	L	942.0	1.0	932.6	929.0	○	923.2	913.7	904.3	894.9	
	現場	L	0.0		0.0	0.0	○	0.0	0.0	0.0	0.0	
	合計		942.0		—	932.6	929.0	○	923.2	913.7	904.3	894.9
⑤LPガス使用量の削減	事務所	kg	8.0	1.0	7.9	8.0	○	7.8	7.8	7.7	7.6	
	現場	kg	0.0		0.0	0.0	○	0.0	0.0	0.0	0.0	
	合計		8.0		—	7.9	8.0	○	7.8	7.8	7.7	7.6
2.廃棄物の削減	①一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	856.6	1.0	848.0	835.1	○	839.5	830.9	822.3	813.8
	②-1産業廃棄物排出量の把握	実施	実施	継続	実施	実施	○	実施	実施	実施	実施	
	②-2再資源化率100%	現場	%	100	継続	100	100	○	100	100	100	100
	②-1受託した産業廃棄物の把握	実施	実施	継続	実施	実施	○	実施	実施	実施	実施	

※電力排出係数は、0.475kg-CO₂/KWh(九州電力 2022・令和4年度調整後排出係数)

環境目標		サイト区分	単位	基準値 (令和5年度 実績値)	削減率	目 標	実 績	評 価	目 標	目 標	目 標	目 標
				R5年4月～ R5年3月		%	令和6年度 R6年4月～ R7年3月	令和6年度 R6年4月～R7年3月		令和7年度 R7年4月～ R8年3月	令和8年度 R8年4月～ R9年3月	令和9年度 R9年4月～ R10年3月
3.省資源	再生資材の優先利用 (数値の把握)	現場	t	実施	継続	実施	実施	○	実施	実施	実施	実施
4.水資源	水使用量の削減	事務所	m ³	332.0	1.0	328.7	316.5	○	325.4	322.0	318.7	315.4
		現場	m ³	0.0		0.0	0.0	○	0.0	0.0	0.0	0.0
		合計			332.0	—	328.7	316.5	○	325.4	322.0	318.7
5.化学 物質	化学物質購入量の把握 と適正管理	現場	(接着剤) kg	実施	継続	実施	実施	○	実施	実施	実施	実施
		現場	(滑剤) kg	実施	継続	実施	実施	○	実施	実施	実施	実施
6.グリーン 購入	グリーン購入の推進	事務所	実施	実施	継続	実施	実施	○	実施	実施	実施	実施
		現場	実施	実施		実施	実施	○	実施	実施	実施	実施
7.地域 貢献	地域貢献活動の実施	全社	回/年	3	継続	3	5	○	3	3	3	3
8.環境 配慮	環境配慮工法の提案 (元請時)	現場	件/1現場	2	継続	2	5	○	2	2	2	2
9.クレーム	騒音・振動クレーム 0件	現場	件/1現場	0	継続	0	0	○	0	0	0	0

6-1.環境経営活動計画の取組結果とその評価(2024・令和6年度)・次年度の環境経営目標及び環境経営計画

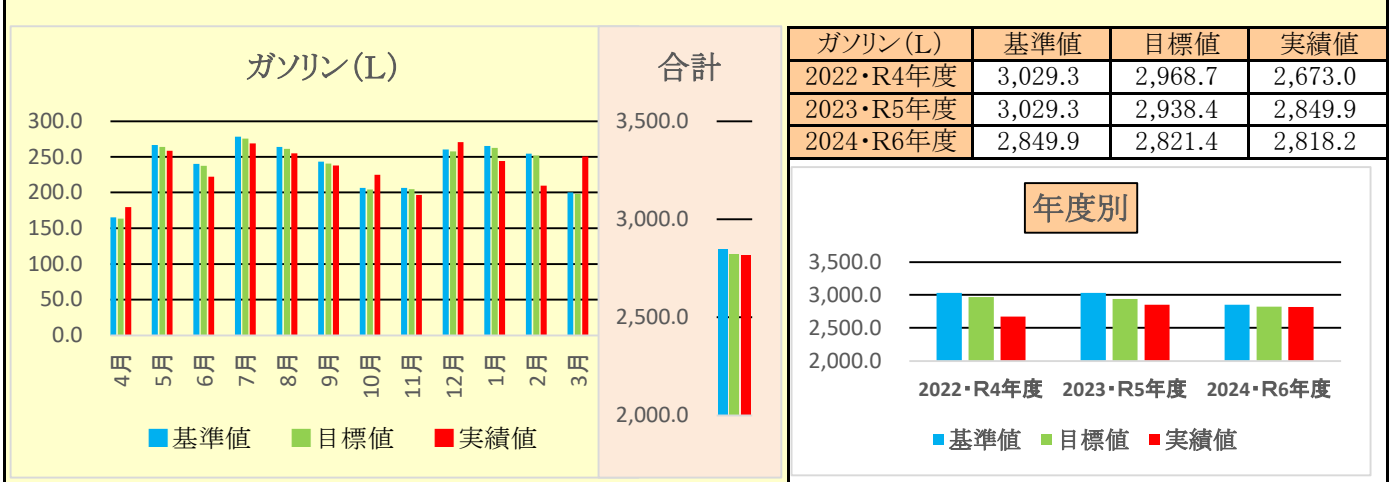
数値目標状況:○達成 ×未達成 活動達成状況:◎よく出来た。○まあまあ出来た。△あまり出来なかった。×出来なかった。



1-②.ガソリンによる二酸化炭素削減

ガソリン		達成状況	活動状況の評価	次年度の取組内容
環境活動数値目標		○		外出の際は経済的な計画を立て、削減を継続する。
活動	1.エコ運転の実施	○	1.各車両にエコ運転ポスターを掲示。	
	2.駐車時のアイドリングストップ	○	2.アイドリングストップを実施している。	
	3.定期的な車両整備	○	3.出発前の点検を実施している。	

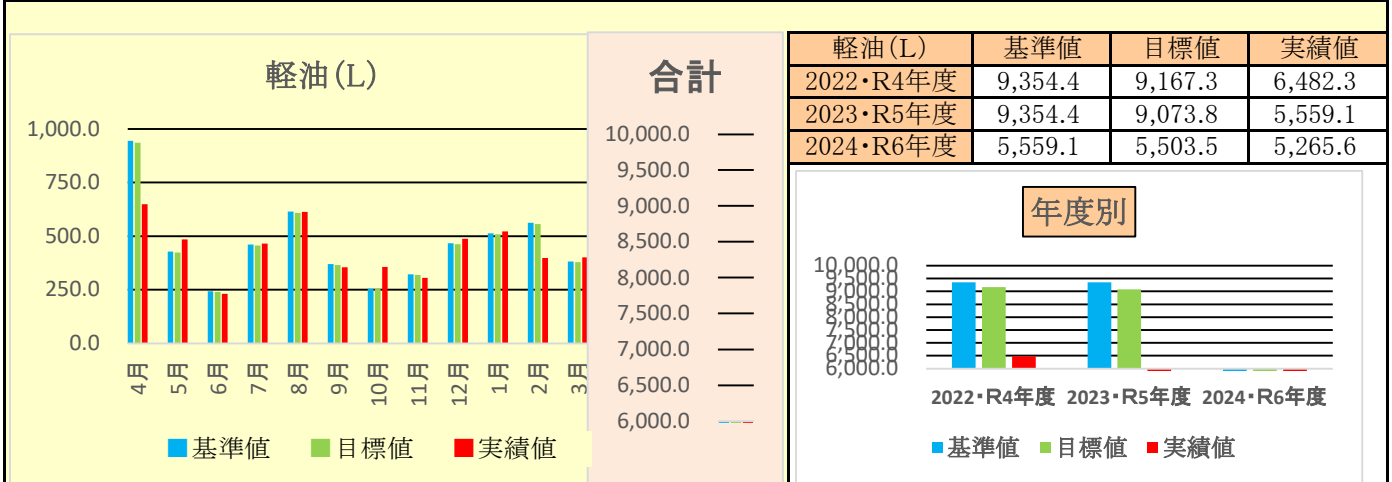
ガソリン(L)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準値	165.2	266.4	240.0	278.4	263.8	243.2	206.4	206.6	260.4	265.2	254.3	200.0	2,849.9
目標値	163.5	263.7	237.6	275.6	261.2	240.8	204.3	204.5	257.8	262.5	251.8	198.0	2,821.4
実績値	179.5	258.6	222.0	268.6	255.0	238.0	225.0	196.6	270.5	244.2	209.8	250.4	2,818.2



1-③.軽油による二酸化炭素削減

軽油		達成状況	活動状況の評価	次年度の取組内容
環境活動数値目標		○		現場により使用量の変動があるが、削減を継続する。
活動	1.エコ運転の実施	○	1.各車両にエコ運転ポスターを掲示。	
	2.駐車時のアイドリングストップ	△	2.アイドリングストップを実施している。	
	3.定期的な車両整備	○	3.出発前の点検を実施している。	
	4.過積載の防止	○	4.過積載監視員を任命し監視している。	

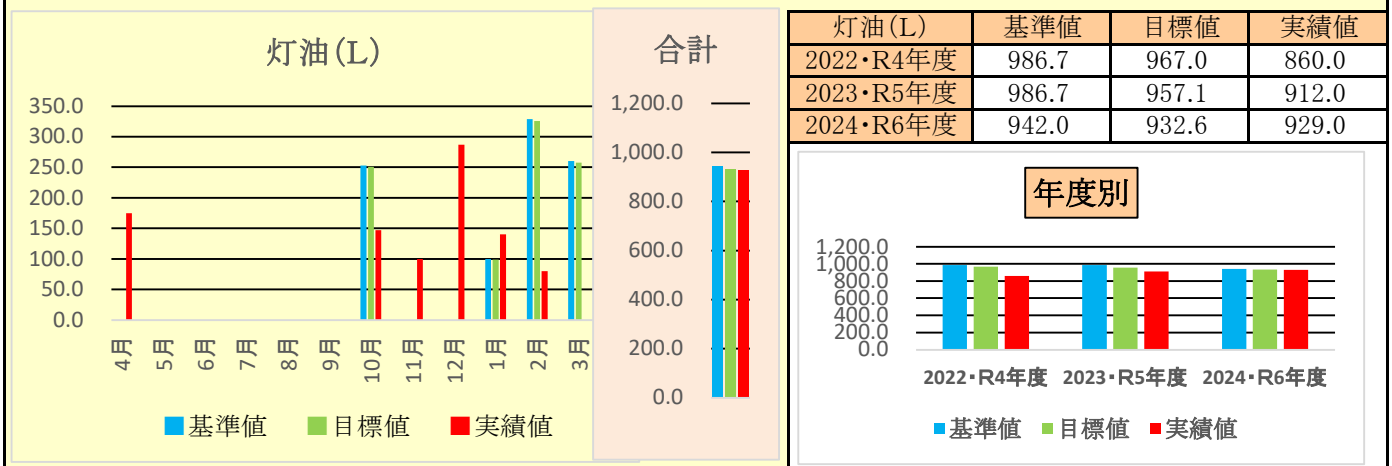
軽油(L)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準値	945.0	427.0	242.0	461.0	614.7	369.0	255.0	322.0	466.0	513.4	562.5	381.5	5,559.1
目標値	935.6	422.7	239.6	456.4	608.6	365.3	252.5	318.8	461.3	508.3	556.9	377.7	5,503.5
実績値	649.0	484.0	230.0	465.0	612.3	354.0	356.4	305.8	488.2	522.4	398.2	400.3	5,265.6



1-④.灯油による二酸化炭素削減

灯油		達成状況	活動状況の評価	次年度の取組内容
環境活動数値目標		○	1.必要の無い場合のストーブの消化はされている。 2.使用時はエコモードになっている。	ストーブの買い替え予定。
活動	1.ストーブの適正な使用 2.エコモードの設定	○		

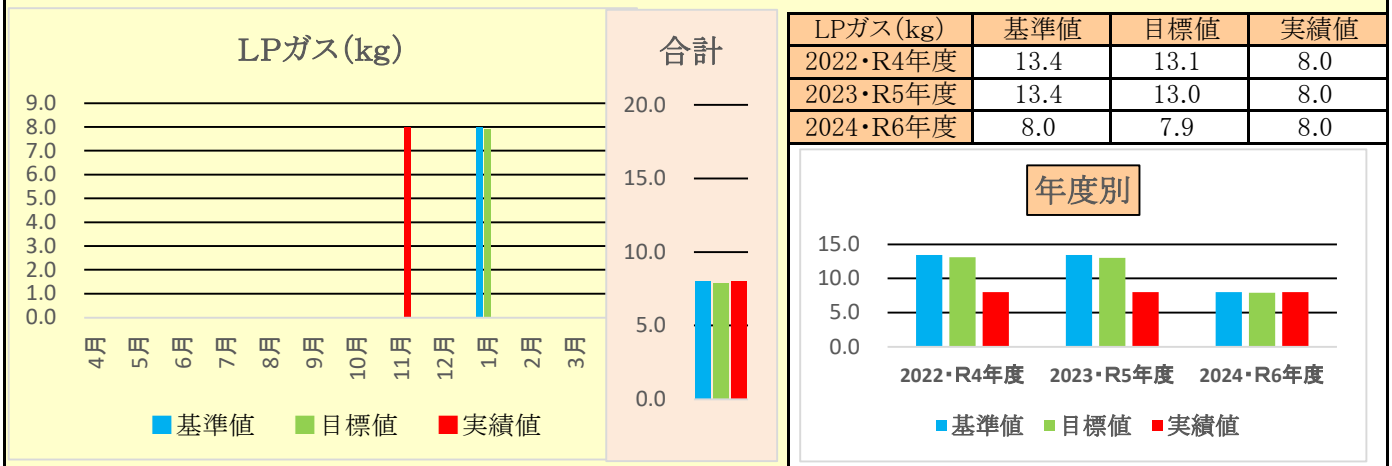
灯油(L)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	253.0	0.0	0.0	100.0	329.0	260.0	942.0
目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	250.5	0.0	0.0	99.0	325.7	257.4	932.6
実績値	175.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	147.0	100.0	287.0	140.0	80.0	0.0	929.0



1-⑤.LPガスによる二酸化炭素削減

LPガス		達成状況	活動状況の評価	次年度の取組内容
環境活動数値目標		○	1.温水使用自体の減少に努めた。	保温力の高いポットを購入、湯沸しは1日1回とする。
内容	1.やかんの湯を沸かしすぎない	△		

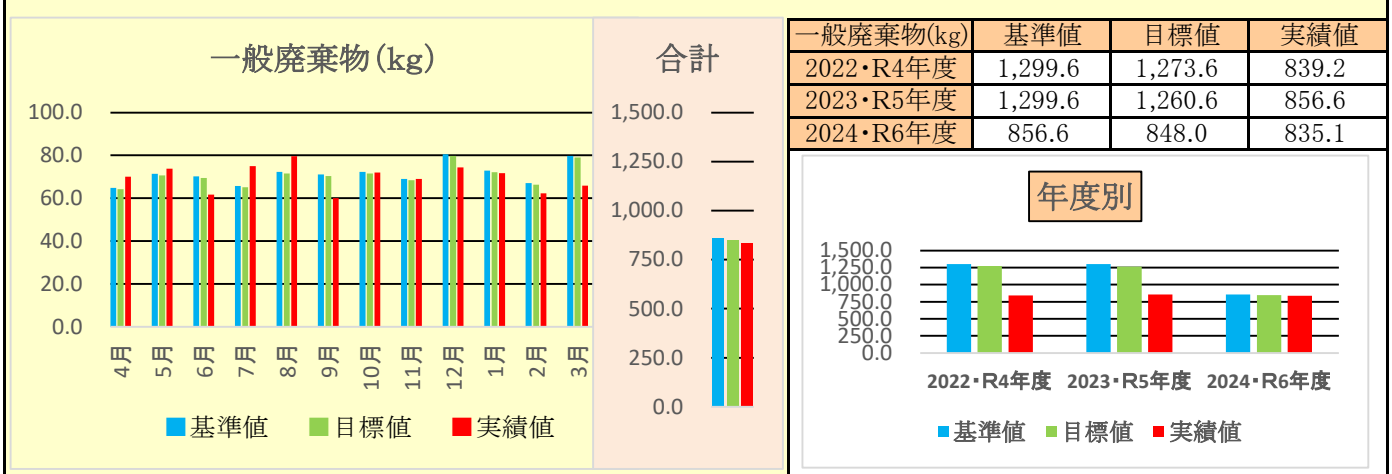
LPガス(kg)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	8.0
目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.9	0.0	0.0	7.9
実績値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0



2-①一般廃棄物排出量の削減

一般廃棄物		達成状況	活動状況の評価	次年度の取組内容
環境活動数値目標		○		確実な分別を実施する。
内容	1.ゴミの分別をしてリサイクルに努める	◎	1.リサイクルBOXを設置し分別している。	
	2.裏紙の再利用	◎	2.社内間で配布する書類、メモ紙は裏紙を利用している。	

廃棄物(kg)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準値	64.8	71.3	70.2	65.7	72.2	71.0	72.2	69.0	80.5	72.9	67.0	79.8	856.6
目標値	64.2	70.6	69.5	65.0	71.5	70.3	71.5	68.3	79.7	72.2	66.3	79.0	848.0
実績値	70.1	73.7	61.7	74.9	79.6	60.0	72.0	69.0	74.4	71.7	62.2	65.8	835.1

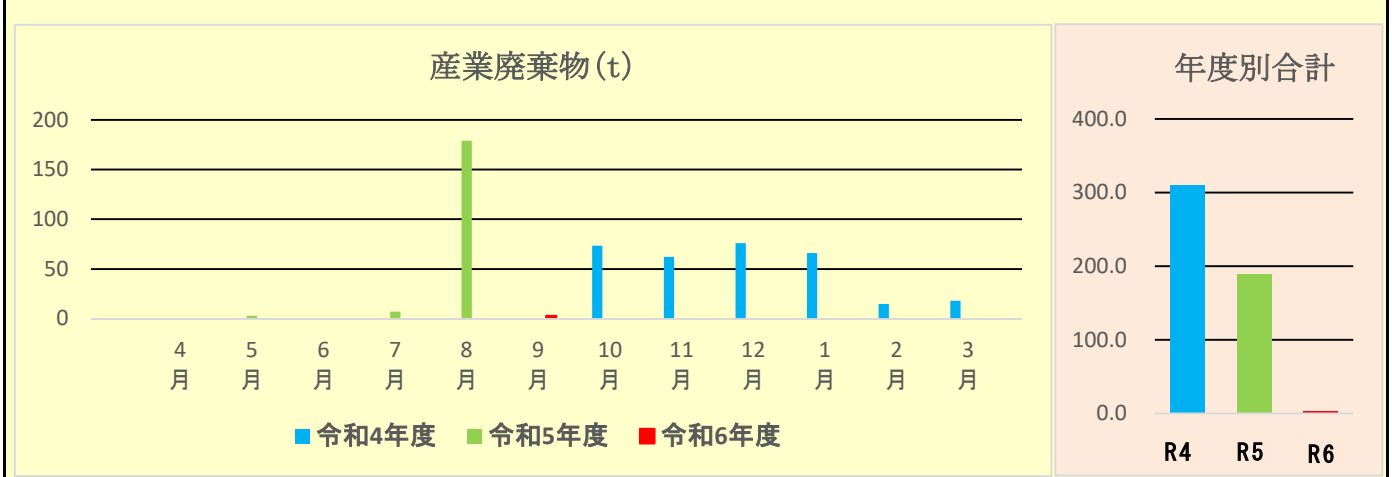


2-②.産業廃棄物の排出量の把握・再資源化率100%

産業廃棄物の把握・再資源化		達成状況	活動状況の評価	次年度の取組内容
環境活動数値目標		○		継続する。 廃棄量が工事内容で増減がある為、廃棄量の把握とリサイクル率100%の目標とする。
活動	1.分別収集をして廃棄する	◎	1.マニフェスト伝票で確認、実施出来てる。	
	2.端材の有効活用	◎	2.分別して廃棄してる。	
	3.産業廃棄物の車両に運搬業の表示、書面の備付けを行う	◎	3.端材は再使用できる物は保管し使用してる。	
	4.再資源化率100%	◎	4.再資源化施設への廃棄物搬入	

産廃(t)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	73.3	62.1	76.0	66.0	15.0	18.0	310.4
令和5年度	0.0	3.0	0.0	7.2	179.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	189.2
令和6年度	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0

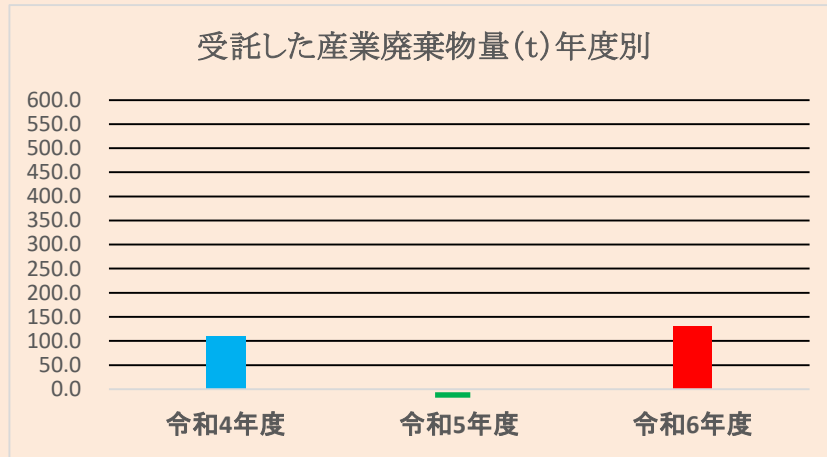
再資源化率は上記産業廃棄物、全てを再資源化施設に搬出につき100%である。



2-③.受託した産業廃棄物量の把握

受託した産業廃棄物量の把握	達成状況	活動内容は上記と同じ。
環境活動数値目標	○	

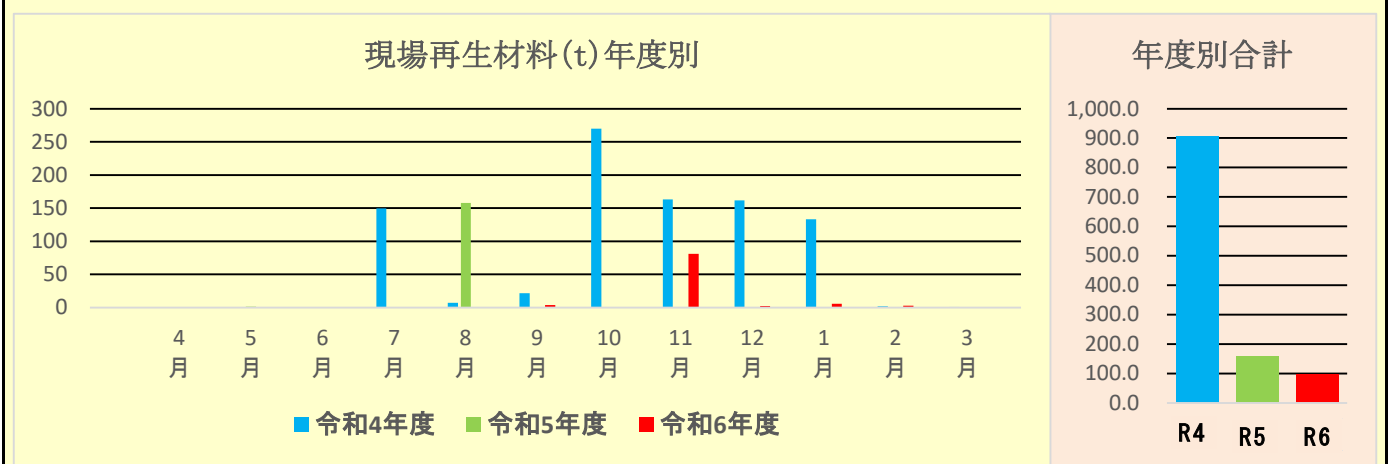
受託産廃(t)	合計
令和4年度	110.0
令和5年度	0.0
令和6年度	131.0

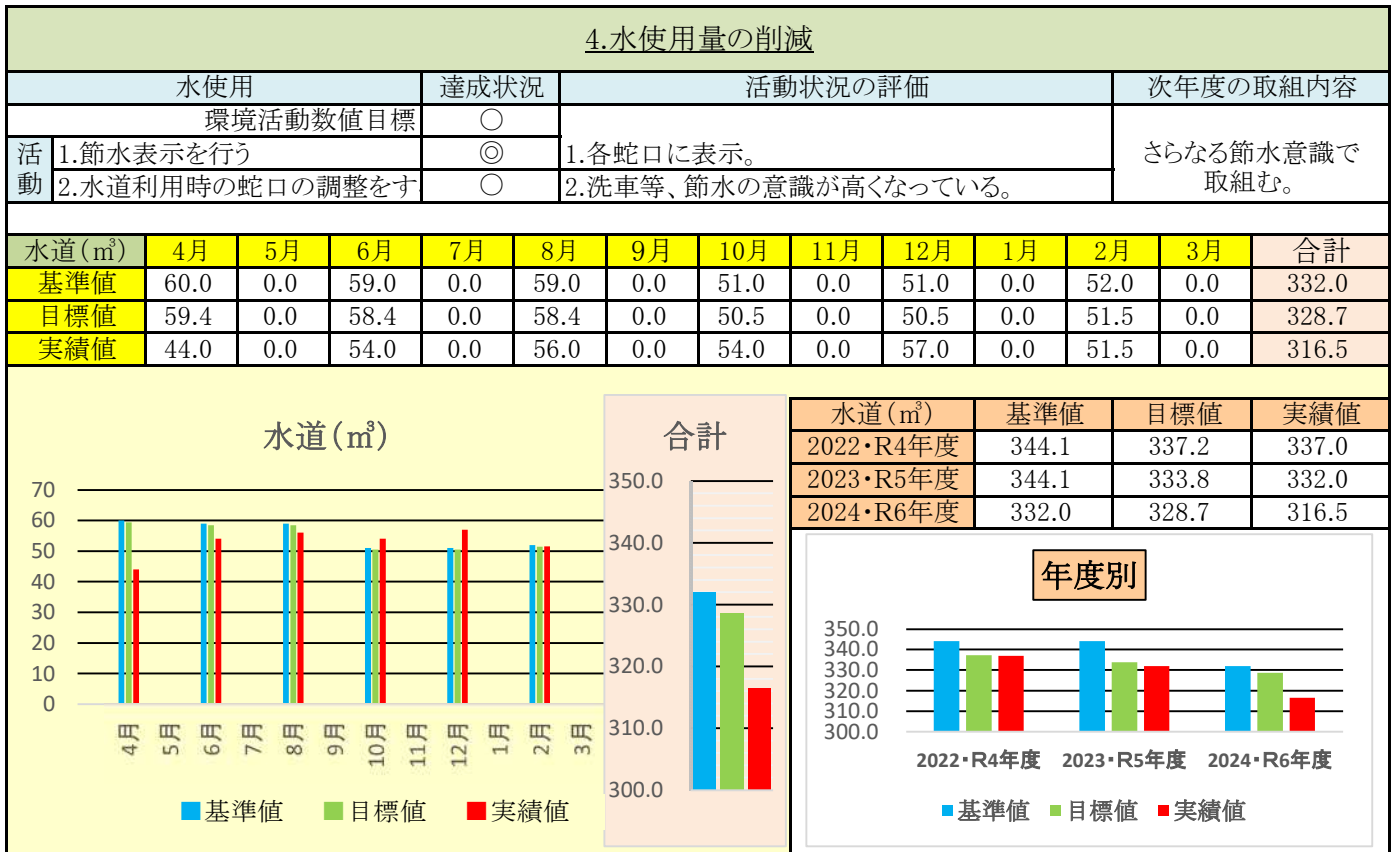


3.現場再生材料の優先利用

現場再生材料の優先利用	達成状況	活動状況の評価	次年度の取組内容
環境活動数値目標	○	1.再生材料購入のデータ収集を行っている。 2.各現場で再生材料の購入を行っている。	優先して使用する。
活動	○		
1.再生材料購入のデータ収集	○		
2.再生材料の購入を行う	◎		

再生材料(t)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	0.0	0.0	0.0	149.6	7.2	21.4	269.6	163.3	161.5	133.0	1.6	0.7	907.9
令和5年度	0.0	1.4	0.0	0.0	157.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	159.2
令和6年度	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	81.0	2.3	5.8	3.0	0.0	96.1





5.化学物質の購入量の把握と適正管理

化学物質		達成状況	活動状況の評価	次年度の取組内容
環境活動数値目標		○	1.SDSによる取扱い等の訓練を行っている。 2.ゴム輪受口、塩ビ管の使用を推進してる。 3.滑材・接着剤のデータ収集を行っている。	SDSによる教育を継続する。
活動	1.SDSの入手、教育	○		
	2.接着剤を使用しない工法の提案	○		
	3.化学物質保管量のデータ収集	○		

年度別	化学物質購入量の把握(kg)	化学物質の製品名	購入量
	2022・R4年度		塩ビ管用接着剤
塩ビ管用滑材			実施
2023・R5年度		塩ビ管用接着剤	実施
		塩ビ管用滑材	実施
2024・R6年度		塩ビ管用接着剤	実施
		塩ビ管用滑材	実施

6.グリーン購入の推進				
グリーン購入		達成状況		次年度の取組内容
環境活動数値目標		○		優先して購入する。
活動	1.グリーン購入のデータ収集	○	1.グリーン購入のデータ収集を行っている。	
	2.グリーン購入を行う	○	2.現場でもグリーン購入の意識が高まっている。	
	3.LED電球の購入を行う	○	3.順次購入している。	
年度別	グリーン購入	基準値	目標値	実績値
	2022・R4年度	実施	実施	実施
	2023・R5年度	実施	実施	実施
	2024・R6年度	実施	実施	実施

7.地域貢献活動				
地域貢献活動		達成状況	活動状況の評価	次年度の取組内容
環境活動数値目標		○		継続する。
活動	1.地域活動への参加	◎	1.違法ポスター等の撤去を実施している。	
	2.現場周辺地域の清掃活動	◎	2.現場周辺清掃活動を実施している。	
年度別	地域貢献活動(回)	基準値	目標値	実績値
	2022・R4年度	3.0	3.0	7.0
	2023・R5年度	3.0	3.0	7.0
	2024・R6年度	3.0	3.0	5.0

8.環境配慮工法の提案(元請時)				
環境配慮工法の提案(元請時)		達成状況	活動状況の評価	次年度の取組内容
環境活動数値目標		○		多数提案していく。
活動	1.元請工事での、創意工夫・社会性・高度技術等の提案	○	1.創意工夫・社会性は顧客の評価が向上してる。高度技術は、特殊工法に絞られるのでまだ弱い。	
年度別	環境配慮工法の提案(件)	基準値	目標値	実績値
	2022・R4年度	2.0	2.0	15.0
	2023・R5年度	2.0	2.0	10.0
	2024・R6年度	2.0	2.0	5.0

9.騒音・振動のクレーム0件				
騒音・振動のクレーム0件		達成状況	活動状況の評価	次年度の取組内容
環境活動数値目標		○		ここ数年クレームは発生して無い、継続する。
活動	1.騒音・振動が出ない施工方法の工夫	○	1.騒音・振動が出ない工法(施工時間・機械の養生等)で施工してる。	
	2.地域住民とのコミュニケーションを図る	○	2.毎日の朝礼で繰り返し指示を行っている。	
年度別	クレーム0件(件)	基準値	目標値	実績値
	2022・R4年度	0.0	0.0	0.0
	2023・R5年度	0.0	0.0	0.0
	2024・R6年度	0.0	0.0	0.0

6-2.環境経営活動(取組状況)

1-1.二酸化炭素排出量の削減。

室内空調設備 夏期:28℃設定(冬期23℃)



1-2.二酸化炭素排出量の削減。

定期的な車両整備の実施



2.廃棄物の発生の抑制、リサイクル活動の推進

事務所ゴミ分別(リサイクル)



使用済紙の再利用



産業廃棄物の運搬車両に運搬業の表示



2. 廃棄物の発生の抑制、リサイクル活動の推進

産業廃棄物の運搬車両に書面の備付け
(収集運搬業許可証他)



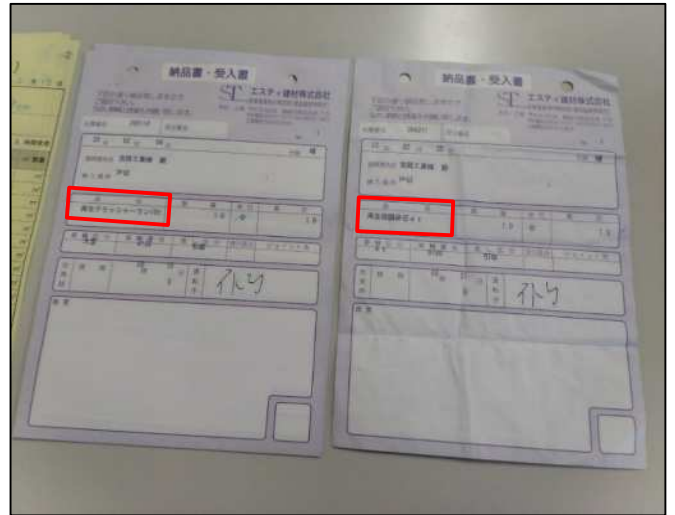
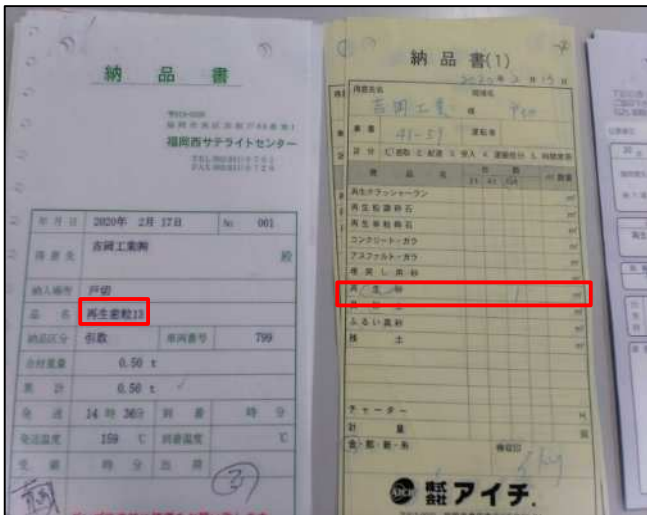
3. 再生資材の優先利用

(再生合材)

(再生砂)

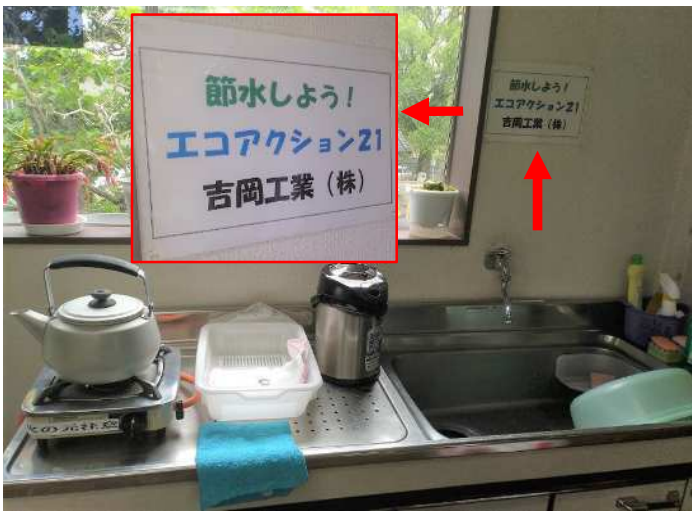
(再生クラッシャーラン)

(再生粒調砕石)



4. 節水活動

①・②節水運動の推進(ポスターの提示)



6. グリーン購入

② 事務用品グリーン購入(コピー用紙)



6.グリーン購入

③エアコンの購入(取替え前)



(取替え後(エアコン))



7.地域貢献活動

地域清掃活動



工事名	
工種	創導工夫
位置	
形状寸法	清掃活動
撮影内容	
担当業者名	台湾工業 株式会社

8.環境配慮工法の推進

創意工夫による、技術提案(一人一花運動の推進)



9.騒音・振動クレーム0件

超低騒音型機械の採用



工事名	
工種	創導工夫
位置	
形状寸法	超低騒音型機械の採用
撮影内容	コンプレッサー
担当業者名	台湾工業 株式会社

9.騒音・振動クレーム0件

超低騒音型機械の採用



工事名	
工種	創導工夫
位置	
形状寸法	超低騒音型機械の採用
撮影内容	コンプレッサー
担当業者名	台湾工業 株式会社

6-3 .次年度(2025・令和7年度)の環境経営目標及び計画

環境目標	サイト区分	単位	基準値 (令和5年度実績値)	削減率	目標値					取組み内容	
			R5年4月～ R6年3月		令和6年度 R6年4月～ R7年3月	令和7年度 R7年4月～ R8年3月	令和8年度 R8年4月～ R9年3月	令和9年度 R9年4月～ R10年3月	令和10年度 R10年4月～ R11年3月		
1.二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO2	24,917.1	2.0	24,667.9	24,418.8	24,169.6	23,920.4	23,671.2		
①電力使用量の削減	事務所	kWh	2,991.2	1.0	2,976.2	2,961.3	2,946.3	2,931.4	2,916.4	1.昼食時及び不使用部屋消灯 2.パソコン使用外電源OFF 3.エアコンの設定温度を守る	
	現場	kWh	363.0		361.2	359.4	357.6	355.7	353.9		
	合計		3,354.2	—	3,337.4	3,320.7	3,303.9	3,287.1	3,270.3		
②ガソリン使用量の削減	事務所	L	2,709.9	2.0	2,682.8	2,655.7	2,628.6	2,601.5	2,574.4	(事業所及び現場) 1.エコ運転の実施 2.駐車時のアイドリングストップ 3.定期的な車両整備	
	現場	L	140.0		138.6	137.2	135.8	134.4	133.0		
	合計		2,849.9	—	2,821.4	2,792.9	2,764.4	2,735.9	2,707.4		
③軽油使用量の削減	事務所	L	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(現場) 1.エコ運転の実施 2.駐車時のアイドリングストップ 3.定期的な車両整備	
	現場	L	5,559.1		5,503.5	5,447.9	5,392.3	5,336.7	5,281.1		
	合計		5,559.1	—	5,503.5	5,447.9	5,392.3	5,336.7	5,281.1		
④灯油使用量の削減	事務所	L	942.0	2.0	932.6	923.2	913.7	904.3	894.9	1.ストーブの適正な使用	
	現場	L	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	合計		942.0	—	932.6	923.2	913.7	904.3	894.9		
⑤LPガス使用量の削減	事務所	kg	8.0	2.0	7.9	7.8	7.8	7.7	7.6	1.温水の温度調整を小まめに行う 2.やかんの湯を沸かしすぎない	
	現場	kg	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	合計		8.0	—	7.9	7.8	7.8	7.7	7.6		
2.廃棄物の削減	①一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	856.6	2.0	848.0	839.5	830.9	822.3	813.8	1.分別して廃棄する 2.裏紙の再利用
	②-1産業廃棄物排出量の把握	現場	実施	実施	継続	実施	実施	実施	実施	実施	1.端材の有効活用 2.運搬車両に運搬業の表示、 書面の備付け 3.マニフェストの適正管理
	②-2再資源化率100%		%	100	継続	100	100	100	100	100	
	②-1受託した産業廃棄物量の把握		実施	実施	継続	実施	実施	実施	実施	実施	

※電力排出係数は、0.475kg-CO2/KWh(九州電力 2022・令和4年度調整後排出係数)

環境目標		サイト区分	単位	基準値 (R5年度実績値)	削減率	計 画					取組み内容
				R5年4月～ R5年3月		%	R6年度 R6年4月～ R7年3月	R7年度 R7年4月～ R8年3月	R8年度 R8年4月～ R9年3月	R9年度 R9年4月～ R10年3月	
3.省資源	再生資材の優先利用 (数値の把握)	現場	t	実施	継続	実施	実施	実施	実施	実施	(現場) 1.建設再生材の有効利用を推進する
4.水資源	水使用量の削減	事務所	m ³	332.0	2.0	328.7	325.4	322.0	318.7	315.4	1.水道水を出しすぎない 2.節水表示を行う
		現場	m ³	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		
		合計			332.0	—	328.7	325.4	322.0	318.7	
5.化学物質	化学物質購入量の把握 と適正管理	現場	(接着剤) kg	実施	継続	実施	実施	実施	実施	実施	1.SDSを取寄せ、取扱い・保管等の 注意事項を厳守する。 2.接着剤の使用を減らす。滑剤 との併用等を行う。 3.接着剤を使用しない工法、ゴム 輪受け口塩ビ管の使用等を行う
		現場	(滑剤) kg	実施	継続	実施	実施	実施	実施	実施	
6.グリーン購入	グリーン購入の推進	事務所	実施	実施	継続	実施	実施	実施	実施	実施	1.事務用品グリーン購入を推進する 2.現場資材グリーン購入を推進する3.LED 電球への順次取替
		現場	実施	実施		実施	実施	実施	実施	実施	
7.地域貢献	地域貢献活動の実施	全社	回/年	3	継続	3	3	3	3	3	(事業所及び現場) 1.公共の場所の清掃活動 2.地域活動への参加
8.環境配慮	環境配慮工法の提案 (元請時)	現場	件/1現場	2	継続	2	2	2	2	2	創意工夫・社会性・高度技術等の提案
9.クレーム	騒音・振動クレーム 0件	現場	件/1現場	0	継続	0	0	0	0	0	1.毎日の朝礼時に繰り返し指示を行う 2.地域住民とのコミュニケーションを図る

7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 (2024・令和6年度)

当社の事業活動、及びサービスに適用される環境関連法規等は次のとおりです。

適用される法規等	適用内容・遵守事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物処理委託契約、委託基準の遵守。 ・産業廃棄物管理票・マニフェスト発行及び確認。 ・不法投棄の禁止・何人もみだりに廃棄物を捨ててはならない。 ・処理実績報告書の提出。 ・多量排出事業者の場合の計画書・実施報告書の提出。 ・野外焼却の禁止・何人も処理基準に従って行う場合以外には焼却の禁止。 	遵守
建設リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・建設業の責務・設計・施工の工夫により建設資材廃棄物の抑制、再資源化の費用の低減に努め、再資源化された建設資材の使用に努める。 ・分別解体等・工事の届出(都道府県知事工事着工7日前迄)実施、再資源化等。 	遵守
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法)	<ul style="list-style-type: none"> ・適正燃料の使用。(軽油) ・点検整備の励行。 ・オフロード法基準適合車両の使用。 	遵守
グリーン購入法	<ul style="list-style-type: none"> ・環境物品等の購入に努める。 ・環境物品等に関する情報の提供。 	遵守
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定建設作業の届出・知事又は市町村長に7日前までに届出。 ・騒音基準・作業敷地の境界線において85デシベル以下。 	遵守
振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定建設作業の届出・知事又は市町村長に7日前までに届出。 ・振動基準・作業敷地の境界線において75デシベル以下。 	遵守
特定家庭用機器商品化法(家電リサイクル法)	<ul style="list-style-type: none"> ・特定家庭用機器を破棄する際は、小売り業者へ適切な引渡及び料金(収集・運搬料金+リサイクル料金)を支払う。 	今回該当なし
化学物質に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・SDS制度・性状及び取扱に関する情報を受ける。 ・労働安全衛生法・化学物質の有害性等の情報提供。(SDS含む) 	遵守
消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器等の消火設備の設置。 ・避難設備、経路の確保。(ドアの前に荷物を置かない等) 	遵守

※関連法規の遵守状況は上記の通りで、違反・訴訟等はありません。

8.代表者による全体評価と見直し・指示

・全体評価

- ・エコアクション21の取組を始め、13年が経過しました。
全従業員の環境に対する意識が定着し、取組は日常的となり、成果は年々上がっています。これからも継続して取り組んでまいります。
- ・電力、燃料の消費に伴う、二酸化炭素排出量の削減について、各現場は小型バックホウの使用で目標は達成しましたがバックホウ規格の大小で燃料使用量が変動しますが各現場での、節約に取り組んでまいります。
- ・国連が提唱する「持続可能な開発目標 (SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組んでまいります。

・見直し

- ・現時点での見直しの必要は無

・指示

- ・受注工事の大半である、福岡市より今年度も工事優良業者の認定を受けており、来年度も工事優良業者を目指して取り組んで行こう。

9.これまでの環境経営活動の紹介

1. 地域貢献活動として、公園・道路等の清掃活動を行っています。
2. 地域ボランティア活動への参加を行っています。

一人一花運動



地域清掃活動



AED搭載

